

## 令和3年度幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業 成果報告書

団体名：びわこ学院大学

### 1. 事業の実績

#### (1) 事業目的

文部科学省初等中等教育局幼児教育課の調査（2019年3月）によると、本学が立地する滋賀県における幼稚園教諭免許状の一種免許状への上進を目的とした認定講習等の受講を希望する教員数は120名、検討中と回答した教員数は181名となっている。合わせると約300名の教員が一種免許状への上進に何らかの関心を示していることとなる。

本学は幼稚園教諭一種免許状課程を有する大学（滋賀県には本学を含め2大学のみ）として、一種免許状への上進に資する認定講習を開設することにより幼稚園教諭の学習意欲に応えるとともに同免許所持者の拡大をもって地域の幼児教育の質の向上をはかろうとするものである。

a希望する 10年未満	a希望する 10年~11年	a希望する 12年以上	b検討中 10年未満	b検討中 10年~11年	b検討中 12年以上	c希望しない 10年未満	c希望しない 10年~11年	c希望しない 12年以上	計
68人	9人	43人	120人	14人	47人	234人	20人	83人	638人
120 (19%)			181 (28%)			337 (53%)			

「幼稚園教諭免許状の上進希望調査（公立幼稚園及び公立幼保連携型認定こども園、大学）の結果について」より

#### (2) 事業概要

幼稚園教諭二種免許状取得後概ね10年以上の在籍がある教員が3年間で幼稚園教諭一種免許状を取得できるよう、当初、令和元年度から令和3年度まで各4単位、合計12単位の講習を開設することとしていたが、体調不良等により未受講の科目が生じた者や、令和2年度からの受講を開始した者等に対応するため、令和3年度は6科目7単位を開設した。

事業項目	実施時期											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
認定講習申請	14日											
委託契約		26日										
広報用チラシ作成			9日									
実施要項発表			9日									
広報用チラシ発送			16日									
受講申込受付			1~24日									
受講者（仮）決定			30日									
講習（1）					20・21・ 27・28日							
講習（2）					20・21・ 27・28日							

講習(3)					29・30日							
講習(4)								7・23日	12・19日			
講習(5)								27日	4日			
講習(6)									25・26日			
成績発表										17日		
事後アンケート					21・28・30日			7・23・27日	4・12・19・26日			
検討委員会											25日	
事業報告												3日

(3) 成果(事業の実績の説明)

1 下表に示す六つの講習について定員各20名で対面式により実施した。

なお、受講料を県内在住者または県内勤務者については、1単位あたり6,000円から3,000円に引き下げて実施した。

会場名		びわこ学院大学		(指導) 大学名	びわこ学院大学		大学	(修士課程名)			
講習人員(会場ごとの合計)				人(実数)		/		人(延べ数)			
No.	免許状の種類	別表第8対応科目	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する開設科目名	授与単位	講義・実験等区分及び時間数	成績審査の方法 ①合格に必要な出席時数 ②成績審査方法 ③評価段階(合否区分)	受講者数 授与単位数(合計)	学級数	
			科目	各科目に含める必要事項							中心となる領域含む領域
1	幼一種免	×	教職	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	領域に関する専門的事項	幼児と表現(R3認定講習)	1	講義 4h 演習 11h	① 12h以上 ② 筆記試験 ③ SA, A, B, C; 合格 D; 不合格	4 (人) 4 (単位)	1
2	幼一種免	×	教職	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	保育内容指導法(表現)(R3認定講習)	1	講義 15h	① 12h以上 ② 筆記試験 ③ SA, A, B, C; 合格 D; 不合格	6 (人) 6 (単位)	1
3	幼一種免	×	教職	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育学概論(R3認定講習)	1	講義 15h	① 12h以上 ② 筆記試験 ③ SA, A, B, C; 合格 D; 不合格	5 (人) 5 (単位)	1
4	幼一種免	×	教職	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職入門(R3認定講習)	2	講義 30h	① 12h以上 ② 筆記試験 ③ SA, A, B, C; 合格 D; 不合格	4 (人) 4 (単位)	1
5	幼一種免	×	教職	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達心理学(R3認定講習)	1	講義 15h	① 12h以上 ② 筆記試験 ③ SA, A, B, C; 合格 D; 不合格	7 (人) 7 (単位)	1
6	幼一種免	×	教職	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。)	教育方法学(R3認定講習)	1	講義 15h	① 12h以上 ② 筆記試験 ③ SA, A, B, C; 合格 D; 不合格	6 (人) 6 (単位)	1

2 各講座の受講者数（実数）は上表に示すとおり「幼児と表現（R3 認定講習）」4名、「保育内容指導法（表現）（R3 認定講習）」6名、「教育学概論（R3 認定講習）」5名、「教職入門（R3 認定講習）」4名、「発達心理学（R3 認定講習）」7名、教育方法学（R3 認定講習）」6名であった。

受講者数については、一部の講習の実施時期が受講者にとって適切でなかったことや講習の受講に向けた提案が十分でなかったこと等から、各講習とも定員の半数をも満たすことができなかった。

3 六つの講習全てにおいて、受講者9名が単位取得した。

4 令和元年から今年度における開設講習が15単位（14科目）であり、上進に必要な単位数分の講習は行った。本事業を活用して幼稚園教諭等一種免許状に上進した教員は2名である。

過去、3年間における単位取得状況は下表のとおりとなっている。

No.	性別	年齢	取得単位数		
			令和3年度	令和2年度	令和元年度
1	女性	36	—	1	1
2	女性	42	—	4	4
3	女性	38	3	4	3
4	女性	46	3	3	4
5	女性	28	—	—	4
6	女性	45	—	—	2
7	女性	27	—	—	4
8	女性	26	2	2	—
9	女性	45	2	2	—
10	女性	48	3	4	—
11	女性	44	6	—	—
12	女性	52	6	—	—
13	女性	46	5	—	—
14	女性	43	3	—	—

#### （4）今後の課題・展望

事業目的に掲載したように、本事業を実施するにあたっては、県下の幼稚園教諭のニーズと本学が目指す地域貢献とのマッチングを十分に検討して実施に踏み切った筈であった。

しかしながら、事業開始当初から受講者が7名と予想の10分の1にも満たない状況にあり、

- 1 受講料を1単位あたり6,000円から県内在住者または県内勤務者について、3,000円とする。
- 2 認定講習受講者の申請に基づき本学が実施する免許状更新講習との相互実施（認定）を行う。
- 3 一部の講習を現行の1日4コマ×2日間から1日2コマ×4日間として実施する。

など、可能な限りの策を講じて受講者増に努めた結果、受講者数は若干の増加となったものの、本事業を継続して実施するにはあまりにも少ない受講者数に留まった。

たとえ少数とはいえ、意欲的に学び、残り数単位で上級免許が取得できる教員のことを思

うと胸が痛み、苦渋の選択ではあったが、大学の経営上止むを得ず、本年度末で本事業を終了することを決定した。

なお、次年度、事業を継続実施しないことについては、令和4年2月25日（金）に開催した検討委員会です承を得た。

とは言え、就学前教育の重要さは益々高まるところであり、そのための幼稚園教諭の資質向上は大きな課題であることに変わりはない。本学としては、地域教育の充実発展に寄与するためにも、幼稚園教諭免許法認定講習の開設とは別の方法で幼稚園教諭の資質向上策を模索し、取り組んでいきたいと考える。